

# 写真作品記録

このアンケートは、写真作品に関する材料・技法・歴史的データの詳細を国内・国際間で共有し、各関連機関と個人がより良い目録、解釈、保存法を写真作品に反映することを目的としています。以下のアンケートをできるだけ詳しくご記入ください。記入枠が不十分の場合は、本アンケートの末尾に記載してください。

---

## 記入者の連絡先:

氏名: \_\_\_\_\_ 日付: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

メールアドレス: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

## 以下のアンケートにお答えください。

作家名: \_\_\_\_\_

国籍: \_\_\_\_\_ 生年 - 没年: \_\_\_\_\_

1.1 作品名: \_\_\_\_\_

1.2 画像制作年: \_\_\_\_\_ 1.3 作品のプリント年: \_\_\_\_\_

1.4 この作品にエディションはありますか? はい いいえ

返答が「はい」の場合: このプリントは \_\_\_\_\_ 番で総プリント数は \_\_\_\_\_ 点、他に \_\_\_\_\_ 点のアーティストプルーフ(AP)から成り立っています。

1.5 この作品には他のサイズまたは他のフォーマットのエディションがありますか? もしある場合は、その詳細を説明してください。

---

1.6 もし他のエディションがない場合、この画像のプリントが他にも存在しますか?

---

1.7 その作品はシリーズまたはポートフォリオの一部ですか? もしそうであるならば、その詳細を説明してください。

---

2.1 この作品の所有者・所蔵先履歴及び所有期間:

---

2.2 この作品の展示歴(展示期間と照度レベルも可能であれば記入してください):

---

2.3 この作品の出版・リプロダクション・複製の履歴(他のプリントも含めたこのイメージ):

---

2.4 このプリントに関する修復歴。この作品は検査または修復を受けたことがありますか? はい いいえ

その記録または情報は入手可能ですか? はい いいえ 添付した

---

3.1 このイメージは以下から制作されています。フィルム デジタル取り込み スキャンされたフィルム その他、例:紙のネガ、ガラス板のネガ

フィルムの種類とサイズ、カメラタイプ、デジタル・ファイルの詳細、その他の関連情報を説明してください。

---

3.2 この作品のプリント前に行われたイメージ操作を説明してください。(画像編集・加工等)

3.3 このプリントは次の技法によるものです。○ゼラチン・シルバー・プリント ○インクジェットプリント 例:アイリス、ジクレー、エプソン など  
○発色現像方式プリント 例:タイプCプリント、エクタカラー など ○銀色素漂白方式 例:シバクローム、イルフォクローム ○その他

3.4 プリントした支持体、印画紙等が市販されている場合、製造元と商品名を識別してください。自製の場合は、材料と製作方法を説明してください。

3.5 作品がインクジェットプリントの場合、インクの情報を提供してください。(例:エプソン・ウルトラクロームK3インク、日本国内名称はPX-P/K3インク)もし、使用されたインクが作家本人または印刷者によって変更または調査されている場合は、その詳細を説明してください。

3.6 この作品は次の者によってプリントされました。○作家本人 ○作家のスタジオ ○商業印刷所・プリントサービス ○その他  
プリント製作者の名前と連絡先を提供してください。

3.7 印刷機器、印刷関連機器、薬品等についての情報を、できるだけ提供してください。(例:ライトジェット、ラムダ、RA4、エプソン、フジなど)

4.1 作品のプリント後、以下に当てはまる工程は：

- 調色・トーンニング ○スポットティング ○レタッチ ○コーティング ○他の材料による処理 ○フレーム額装  
○ラミネート加工(プラスチックのシートの使用) ○フェイス・マウント(透明な支持体、ガラスやプラスチック素材を写真の上に接着 例:アクリル加工)  
○バック・マウント(硬質の支持体の上に接着 例:パネル加工) ○裏打ち(柔軟な紙や布の支持体に接着) ○その他
- 上記でチェックされたそれぞれの工程に関して、材料、技法、額装者の氏名と連絡先の情報を提供してください。

4.2 額装・展示に際して、作品に欠かせない一部になっているところがあれば説明してください。

5.1 作品の取り扱いの注意点や特に脆い面があれば説明してください。

5.2 この作品の保存維持に精通した保存修復者、アシスタント、その他のスペシャリストがいる場合、その方々の連絡先を記入してください。

5.3 その他に、この作品の制作や保存に関する意見や情報があればぜひ提供してください。

上記の質問返答で、記入できなかった部分のための余白

この”写真作品記録”の内容は米国保存修復協会(The American Institute of Conservation)とその組織内のフォトグラフィック・マテリアル・グループ(Photographic Materials Group)によって是認されています。この写真作品記録用紙は以下の機関にて使用されています。The Art Institute of Chicago; Atelier de Restauration et de Conservation des Photographies de la Ville de Paris; George Eastman House, Rochester, New York; High Museum of Art, Atlanta; J. Paul Getty Museum, Los Angeles; Los Angeles County Museum of Art; The Metropolitan Museum of Art, New York; Milwaukee Art Museum; Museum of Fine Arts, Boston; The Museum of Fine Arts, Houston; The Museum of Modern Art, New York; National Gallery of Art, Washington, D.C.; National Gallery of Australia, Canberra; The National Gallery of Canada, Ottawa; The New York Public Library; Philadelphia Museum of Art; Rijksmuseum, Amsterdam; San Francisco Museum of Modern Art; (編成順)。

この”写真作品記録”には著作権は適用されません。その為、さらなる許可を得ることなく作家、ギャラリー、また写真作品を収集所蔵する機関において自由に編成、翻訳、使用が可能です。記入可能なpdfバージョンの用紙はウェブサイトwww.conservation-us.org/PIRで入手可能です。このバージョンは2009年6月に作成されたものです。